



所 属: 経済学部 地域環境政策学科
担当科目: フランス語 I・II・III・IV、基礎演習 I・II、
国際理解課題研究 I

学歴等のプロフィール

【主要学歴】

- ・大阪大学文学部大学院文学研究科博士課程 単位取得退学
- ・フランス・モンペリエ第三大学 DEA 課程 修了
- ・大阪大学文学部大学院文学研究科修士課程 修了
- ・大阪大学文学部フランス文学科 卒業

【学位】

- ・文学 DEA(フランス・モンペリエ第三大学)
- ・文学修士(大阪大学)
- ・文学学士(大阪大学)

【所属学会】

- ・日本フランス語フランス文学会
- ・九州フランス文学会
- ・大阪大学フランス語フランス文学会
- ・沖縄国際大学外国語学会
- ・沖縄国際大学総合学術学会
- ・沖縄外国文学会
- ・日本ケベック学会

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
教育活動・方法の実践例 ・フランス語 I ～IV など ・フランス語検定試験対策講座 ・フランス語合宿 ・交換留学生の事前研修	2012 年 4 月～ 現在 2012 年 4 月～ 現在 2015 年～現在 2012 年～現在	2012 年に沖縄国際大学に専任教員として着任。以後、フランス語およびヨーロッパ文化に関連した授業に加えて、地域環境政策学科の 1 年生を対象とする初年度教育のためのゼミ（基礎演習）を担当。 年に 2 回、実用フランス語技能検定試験（6 月と 11 月に実施）のための対策講座を実施。 年に 1 回、東村のセミナーハウスにて、フランス語合宿を実施。 フランス・レンヌ第二大学への交換留学候補生を対象とする事前研修を実施。
作成した教科書 ・教科書『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！一』	2006 年 9 月～ 2008 年 3 月 2008 年 4 月刊行 2013 年 4 月改訂版刊行	大阪大学大学院での指導教官を中心に、大学院のゼミ修了生が集い、初めてフランス語を学ぶ学生を対象とする、会話・文法の両面を習得できる教科書を作成。
学内外での活動 ・FM21『沖縄大学提供 ゆにづえるして』の 1 コーナーを担当 ・文化経済フォーラムでミニ講演会の講師を担当 ・『ガリア』50 号記念シンポジウム「時の経過」にて発表 ・2013 年フランス語教育国内スタージュに参加 ・2013 年第 34 回外国語としてのフランス語教育およびケベックの文化と社会に関する研修に参加 ・沖縄国際大学 CALL ワークショップにて発表 ・フランス語検定試験（春季）	2007 年 10～12 月 2007 年 11 月 2011 年 3 月 2013 年 3 月 2013 年 7～8 月 2013 年 8 月 30 日 2012 年～現在	タイトル：『星の王子さま』を読む（全 12 回） タイトル：『星の王子さま』を読む タイトル：『アルテンブルクのくるみの木』におけるマルローの時の経過を超越するものへの眼差し 4 日間の研修に参加。 3 週間の研修に参加。 タイトル：はじめての自己紹介—動画を通して自分自身を確認！— 毎年、実用フランス語技能検定試験（春季）を会場責任者として沖縄国際大学にて実施。

研究業績等

【論文及び著書等】

論文

- ・ Le rôle des objets brahmaniques dans *La Voie royale* d'André Malraux, *Gallia*, n°37, 大阪大学フランス語フランス文学会, 1998年3月, pp.41-48
- ・ マルロー『王道』における<昆虫>・<モイ族>・<細菌性毒素>の役割—「戦いの場」の構築手法—, 『関西フランス語フランス文学』, 第4号, 1998年3月, pp.65-73
- ・ L'univers étranger dans les premières œuvres de Malraux —du motif farfelu à l'espace exotique —, *Gallia*, n°38, 大阪大学フランス語フランス文学会, 1999年3月, pp.33-40
- ・ Le chronotope du *Royaume-Farfelu* d'André Malraux, *Gallia*, n°40, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2001年3月, pp.235-241
- ・ L'évolution de la Poétique du jeune Malraux dans les années 1920-1930—Des récits farfelus au roman d'aventures—, DEA 論文, モンペリエ第三大学, 2001年6月
- ・ マルロー『紙の月』における« farfelu »の表象, 『フランス文学論集』, 第37号, 九州フランス文学会, 2002年11月, pp.25-36
- ・ マルロー作品における「生暖かさ」についての考察, *Gallia*, n°44, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2005年3月, pp.41-48
- ・ マルロー『王道』における身体性, 『待兼山論叢』, 第39号, 文学篇, 大阪大学文学会, 2005年12月, pp.77-92
- ・ 「誘惑」をめぐって—アンドレ・マルロー『西欧の誘惑』についての小論—, 『テキストの生理学—柏木隆雄教授退職記念論文集—』, 朝日出版社, 2008年2月, pp.355-367
- ・ マルロー『アルテンブルクのくるみの木』の物語構造を通して喚起される人間のイメージについて, 『総合学術研究紀要』, 第14巻第1号, 沖縄国際大学総合学術学会, 2010年12月, pp.89-98
- ・ 『アルテンブルクのくるみの木』にこだまする「最初の人間」の声—マルローの時の経過を超越するものへの眼差し—, *Gallia*, n°50, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2011年3月, pp.209-218
- ・ マルロー『アルテンブルクのくるみの木』における「知識人」について—ヴァレリーの問題提起に対する24年後の返答—, *Southern Review*, n°26, 沖縄外国文学会, 2011年12月, pp.23-38
- ・ マルロー『西欧の誘惑』における身体性の萌芽, 『フランス文学論集』, 第47号, 九州フランス文学会, 2012年11月, pp.1-14
- ・ マルロー『侮蔑の時代』における身体の表象, 『沖縄国際大学外国語研究』, 第17巻第2号, 沖縄国際大学外国語学会, 2014年3月, pp.1-14
- ・ マルロー『人間の条件』における「身体」イメージの混在, *Gallia*, n°54, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2015年3月, pp.103-112
- ・ 身体性が喚起する女性性について—マルロー『人間の条件』をめぐって—, 『沖縄国際大学外国語研究』, 第19巻第1号, 沖縄国際大学外国語学会, 2015年9月, pp.1-17

報告

- ・ 外国語としてのフランス語教育およびケベックの文化と社会に関する研修への参加報告, 『総

合学術研究紀要』, 第 17 卷第 2 号, 沖縄国際大学総合学術学会, 2014 年 13 月, pp.89-98

著書 (共著)

- ・ 『フランス文学小事典』, 朝日出版社, 平成 2007 年 3 月 (作家 13 人, 作品 8 点, 事項 2 項目を担当)

翻訳 (共訳)

- ・ 『ベラン世界地理体系 8 : ロシア・中央アジア』, 田辺裕・竹内信夫監訳, 柏木隆雄・鈴木隆編訳, 朝倉書店, 2011 年 6 月 (第Ⅱ部第 7 章～第 10 章を担当)

奨励金実績

- ・ 国際ロータリー財団国際親善奨学生 (2000-2001 年)
- ・ カナダ・ケベック州政府による日本および韓国のフランス語教員を対象とした「外国語としてのフランス語教育およびケベックの文化と社会に関する研修」奨学生 (2013 年)
- ・ 沖縄国際大学の学外研修者としてフランス・ブルゴーニュ大学にて研究活動 (2016-2017 年)

学会関連活動

- ・ 沖縄外国文学会において広報委員長を担当 (2014-2016 年)

研究分野

アンドレ・マルローの作品研究

【E メール・ホームページ等】

r.uezu@okiu.ac.jp

平成 29 年 04 月 01 日現在